

【件名】

なかの気候区民会議実施に向けた進捗状況について

【要旨】

本年11月の開始に向けて準備を進めている「なかの気候区民会議（以下、「区民会議」という。）」について、現在の進捗状況を下記のとおり報告する。

1 参加者の募集及び選定

(1) 募集方法

住民基本台帳から無作為に抽出した中学生以上の区民5,000 人に対し、令和 8 年 7 月末に参加募集案内を送付し、8 月末まで参加者を募集した。

(2) 応募者数

応募者数 182人(Logo フォーム 181 人、電話申し込み 1 人)

(3) 応募者の状況

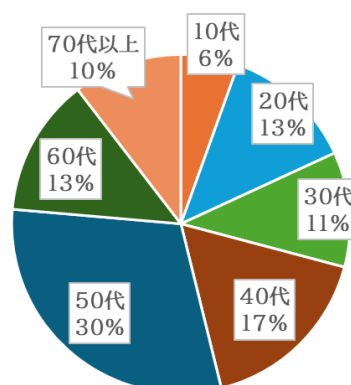
今回の募集では、右記のとおり若年層から高齢層まで、幅広い年代からの応募があった。

応募に際しての自由意見では、「日頃は子育てと仕事で忙しく環境について考えることがあまりないが、良い機会だと考えた」、「通学時の暑さを通じて温暖化を身近に感じていて、中学生の視点から意見を伝えたい」、「中野区の地球温暖化対策に実効性のある貢献を果たしたい」などの意見が寄せられた。

(4) 参加者の選定

応募者の中から、年齢、居住地域等が中野区の人口構成におおむね沿うよう調整し、50人を参加者として選定した。

応募者の年代別人数(182人)



2 区民会議の実施概要

(1) 目的

参加者が気候変動や環境問題について学び、対話を通じて環境問題を自らの生活に関わる課題として捉え、ワークショップを通じて区民視点の環境アクションプランを提案するとともに、主体的な環境行動のきっかけとすることを目的として実施する。

(2) 進め方

専門アドバイザーによる講義や助言を受けながら、「区民が作る環境アクションプランへの提案」をテーマとしてワークショップを行い、環境理念や区民・行政・事業者が取り組むべき事項、連携・協働のあり方など議論して提案をまとめる。

回	日程	プログラム予定
第1回	令和8年11月22日	・講義(江守氏・三上氏) ・ワークショップ
第2回	令和8年12月12日	・講義(講師は調整中) ・ワークショップ
第3回	令和9年1月23日	・講義(茅野氏) ・ワークショップ
第4回	令和9年2月27日	・ワークショップ ・グループ発表

(3)専門アドバイザー

茅野 恒秀氏(法政大学社会学部教授)

江守 正多氏(東京大学未来ビジョン研究センター副センター長兼教授)

三上 直之氏(名古屋大学大学院環境学研究科教授)

西林 勝吾氏(立教大学環境学部准教授)

(4)アンケートの実施

会議の実施前後にアンケートを実施し、気候変動に関する参加者の理解度、意識及び行動の変化を把握する。

(5)その他

講義は公開講座として実施し、区民会議参加者以外の区民も聴講できるものとする。また、ワークショップについても傍聴可とする。

3 区民会議終了後の展開

区民会議における各グループからの提案をとりまとめた文案を参加者に諮り、「区民提案型環境アクションプラン」を作成する。

令和9年6月頃を目途に発表会を開催し、アクションプランの発表や区民会議のプロセスや成果など広く区民へ発信する。

さらに、アクションプランの実行に向け、実施方法や促進手法の検討を進める。